

スポーツ教養プログラム【オリンピック・パラリンピアン講話】 活動報告

1 日時

2026 年 7 月 20 日（月・祝） 13 時 45 分から 14 時 45 分まで

2 会場

ウィルあいち（愛知県女性総合センター） ウィルホール

3 プログラム名

オリンピック・パラリンピアン講話「トップアスリートとして」

4 講師（敬称略）

○柳本 理乃（スキー／フリースタイル）

ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック 女子モーグル 13 位

女子デュアルモーグル 17 位

○岡部 学（パラアイスホッケー）

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会

パラアイスホッケー 8 位

5 活動内容

オリンピックでは津島市出身の柳本理乃選手、パラリンピアンでは名古屋市出身の岡部学選手をお迎えし、トークセッションを行いました。柳本選手からは、これまでの経験を振り返りながら、競技に取り組む上で周囲に対する感謝の気持ちを持つことやオリンピックでの経験について、岡部選手からは、競技を始めたきっかけや何事にも挑戦することの大切さ、パラリンピックに出場した時のことについて、お話しいただきました。

最後は、アカデミー生から活発に質問があり、講師のお二人から丁寧に回答していただきました。

アカデミー生は、今後の活動にぜひ生かしてほしいと思います。



トークセッションの様子



オリンピック出場時の様子を話す
柳本選手



質問するアカデミー生



アカデミー生の質問に答える
岡部選手